資料　３

≪公共事業の効果等について≫

○資料３－１

海岸保全（高潮）事業（呼子港海岸（殿ノ浦地区））　【港湾課】

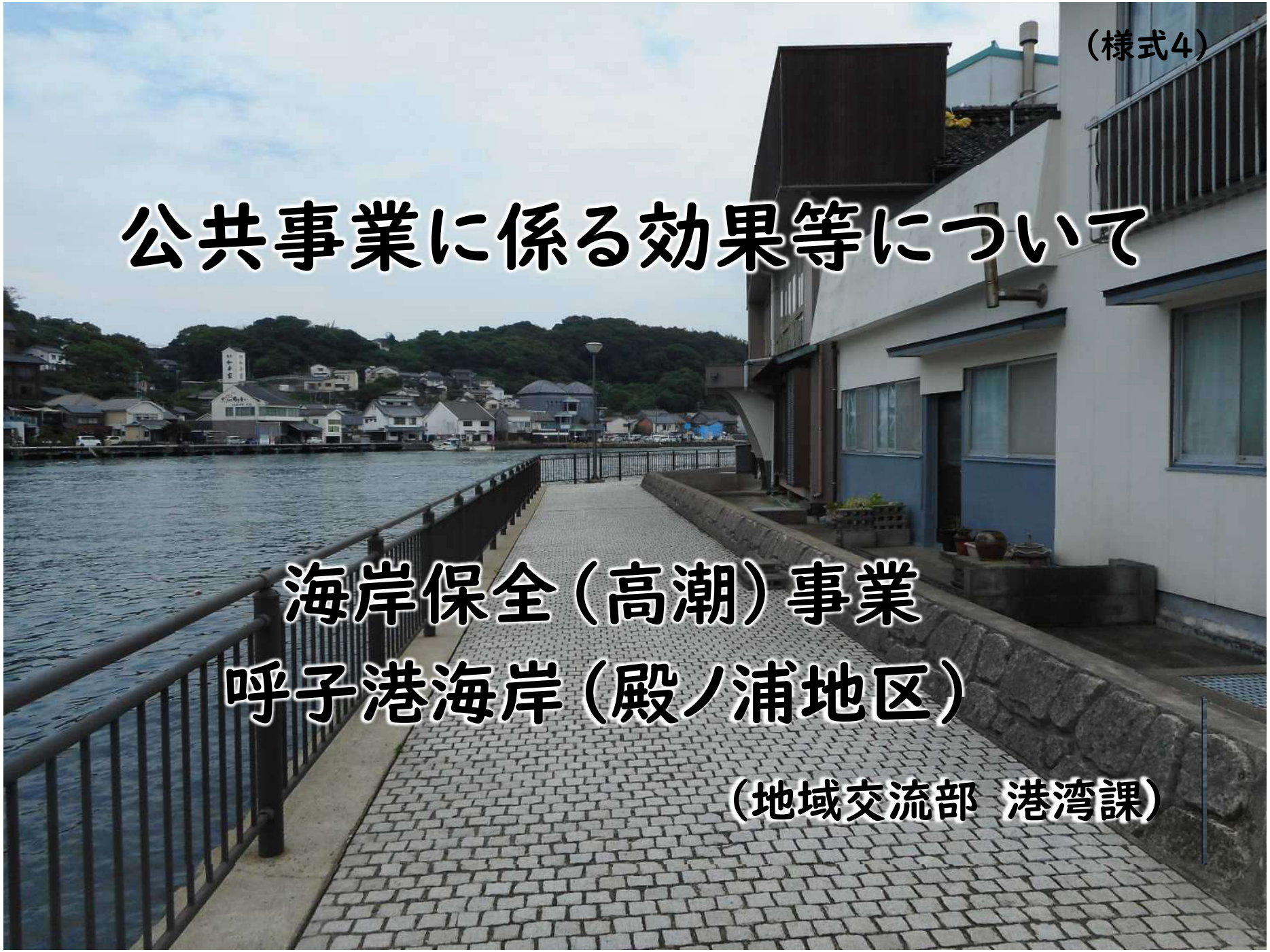
○資料３－２

水産業強化支援事業（呼子漁港）　【水産課】

○資料３－３

建設海岸保全施設整備交付金事業（鹿島海岸（飯田地区））
【河川砂防課】

（様式4）



公共事業に係る効果等について

海岸保全（高潮）事業
呼子港海岸（殿ノ浦地区）

（地域交流部　港湾課）

事業概要

事 業 名： 海岸保全（高潮）事業

地 区 名： 呼子港海岸（殿ノ浦地区）

所 在 地： 唐津市呼子町

工　　期： 平成11年度～令和元年度

事 業 費： 約 17億円

事業内容： 護岸工 L=873m





事業の背景と目的

○ 背景

海岸背後に人家・旅館・市道が控えながらも、護岸は脆弱な空石積で高さも不足しており、高潮や波浪により背後の住宅家屋、住民へ甚大な被害が発生する可能性が高い状況であった。

○ 目的

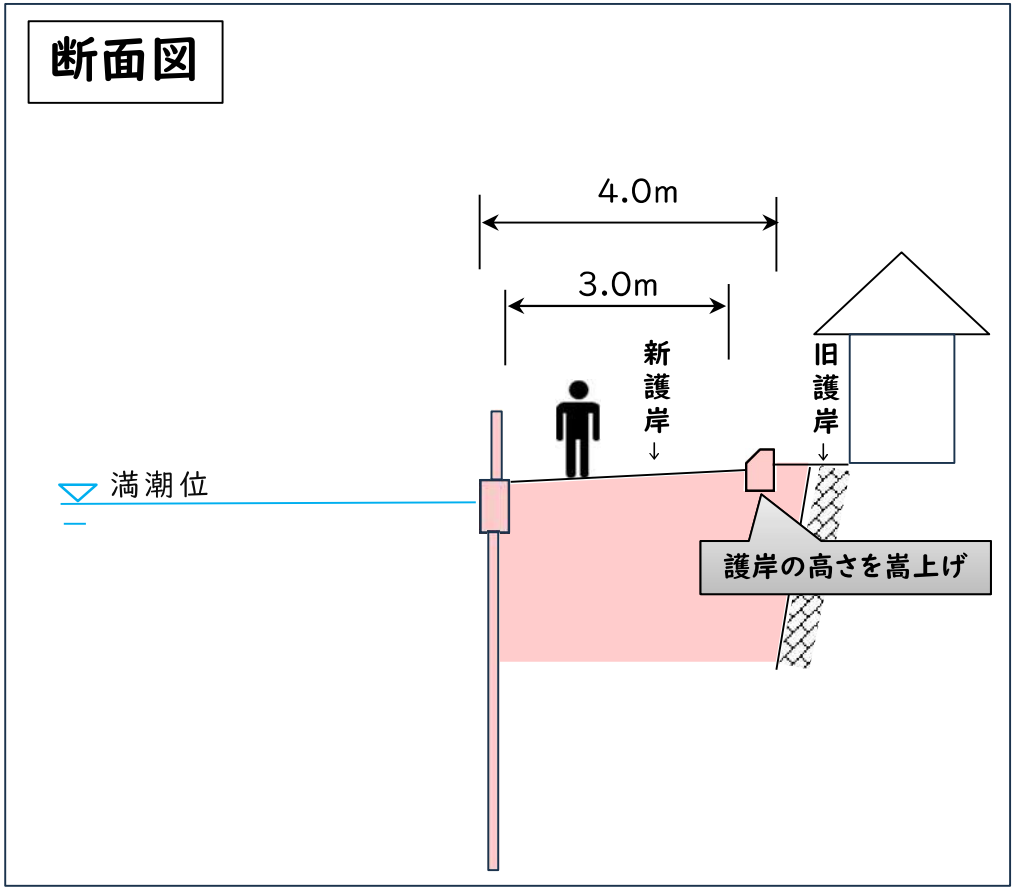
護岸を整備することにより、高潮や浸食被害から背後地を保全し、海岸の防護機能の向上を図る。



事業内容

・旧護岸の前面に満潮位や波の高さを考慮した、新しい護岸を整備した。

・管理用通路を新設した





整備状況

事業前



事業後





高潮被害から守るために
必要な護岸高さを確保

事業効果

・当該事業箇所について、過去に観測した最高潮位を踏まえて算定した必要な堤防高に対し、現況護岸の高さが不足するため高潮対策事業を実施している。

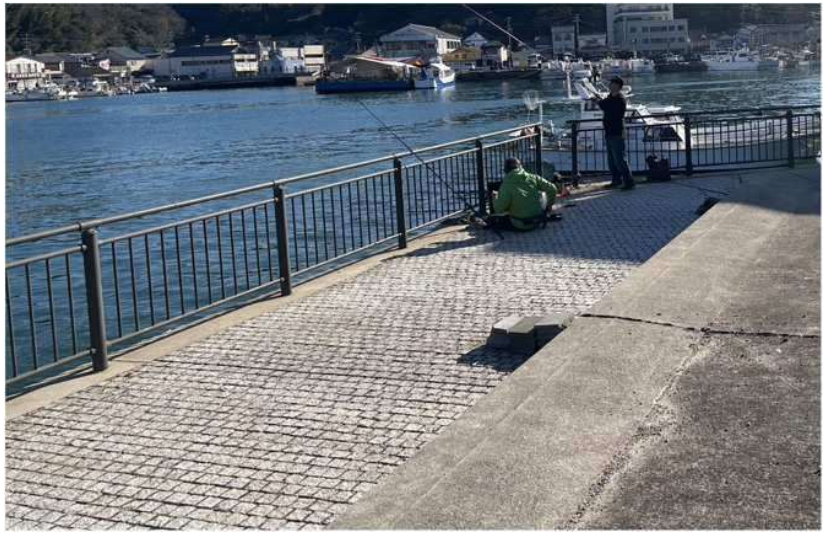
・その結果、高潮被害を未然に防ぐことができ、沿岸地域住民の安心・安全なくらしにつながっている。

県民の声

・もともとの石積みがしっかりとした護岸になって崩れる心配がなくなり安心して生活できるようになった。

・管理用通路について、地元住民や旅館宿泊者の散歩道としての利用や釣り人が訪れたりすることでにぎわいが生まれた。

・整備箇所の背後の市道は車の離合も難しいほど狭く、歩くのには危険を感じていたが、管理用通路ができたことで、安全に歩けるようになった。

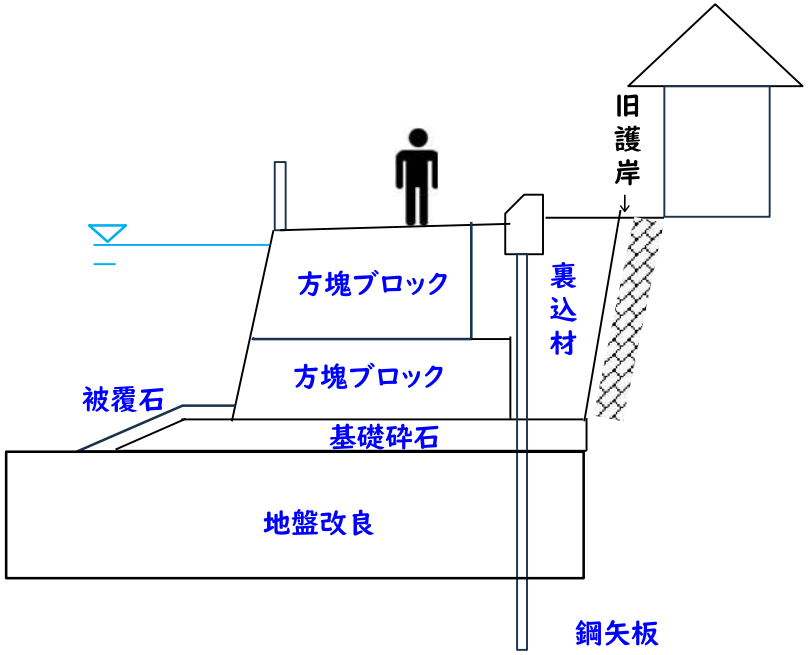




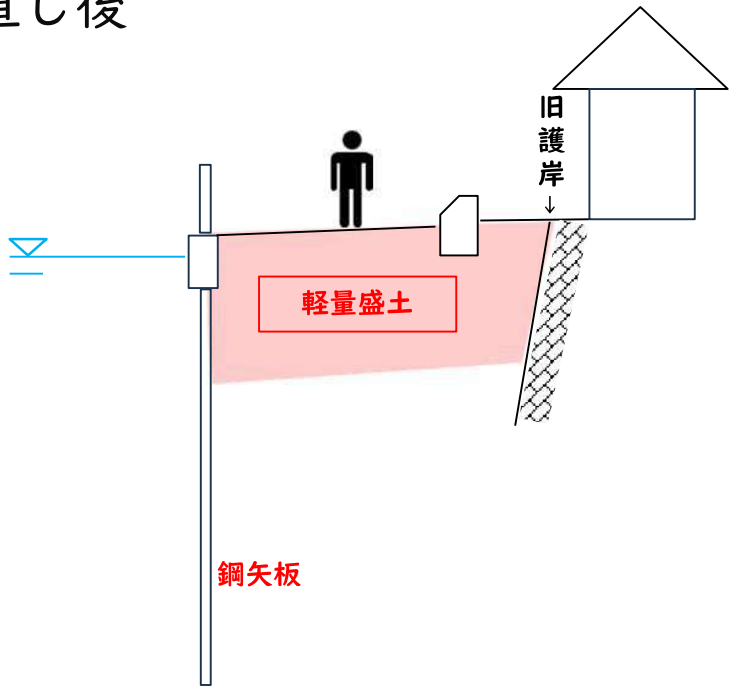
参考

○ 工法見直しについて

当初



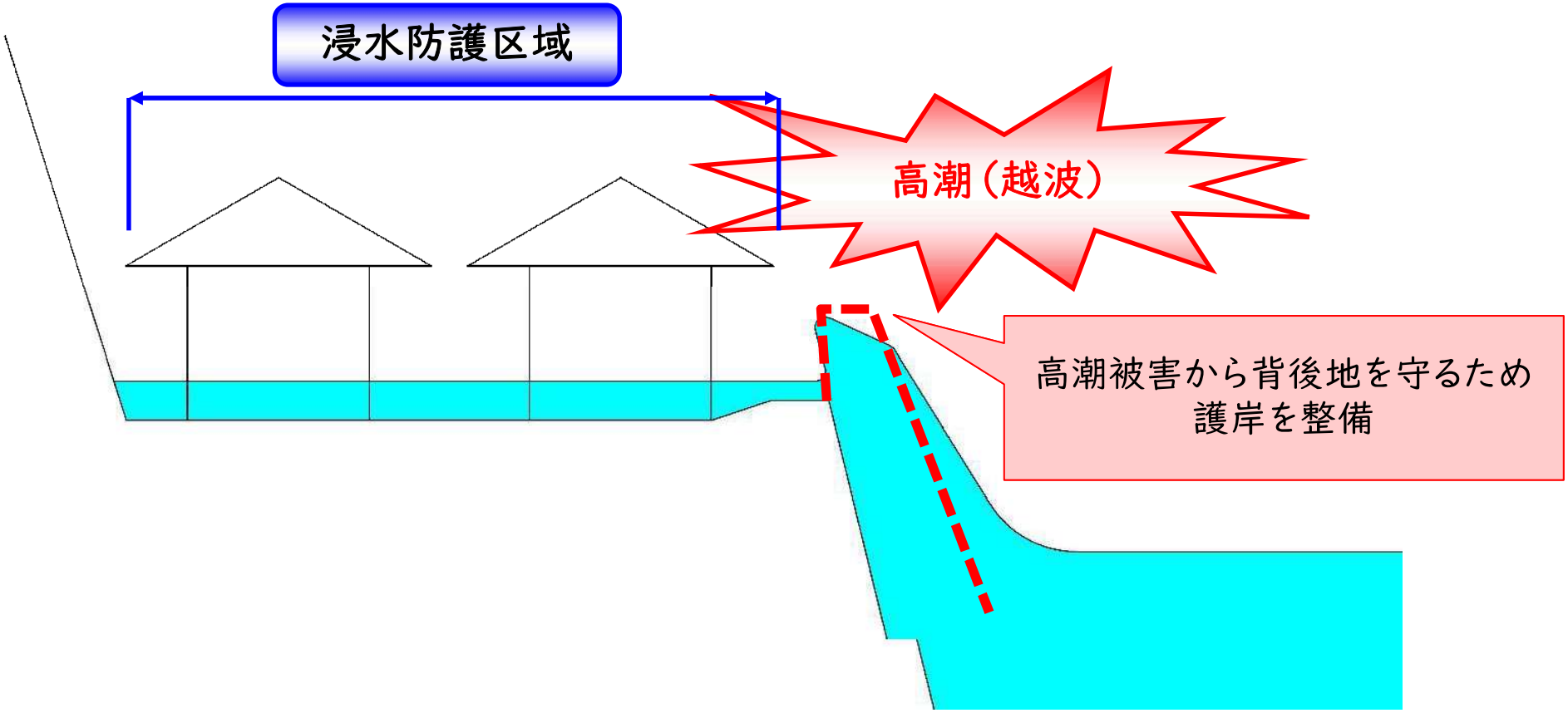
見直し後



・方塊ブロック（コンクリートブロック）から軽量盛土へ工法を見直した。

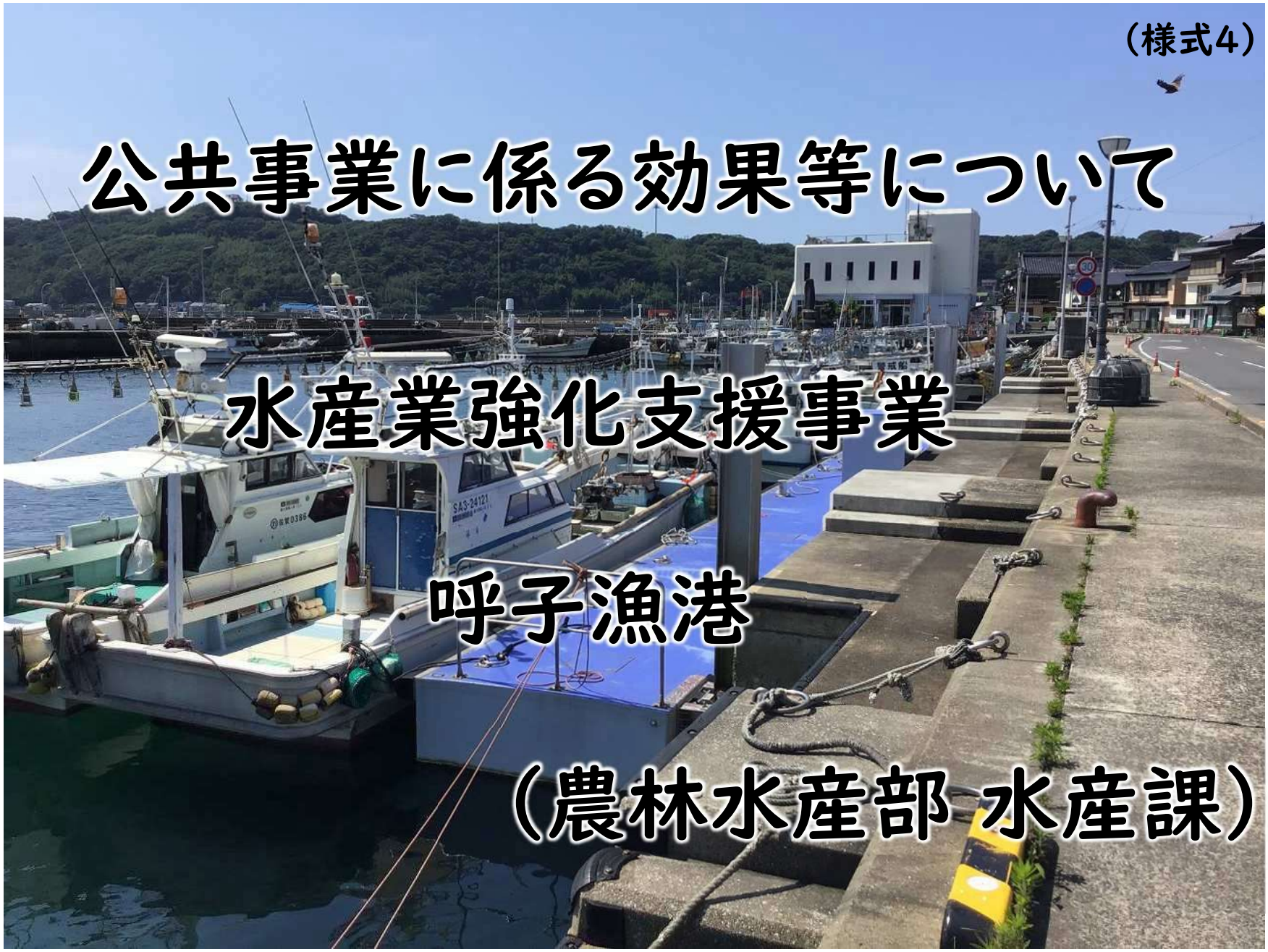
参考

○ 高潮対策事業とは



当該事業は、高潮から背後地の浸水被害を防護する
『高潮対策（浸水防護）』を目的としている。

（様式4）



公共事業に係る効果等について

水産業強化支援事業

呼子漁港

（農林水産部 水産課）

1.事業概要

○浮桟橋の整備により就労環境の改善を図る。

◇事業名：水産業強化支援事業

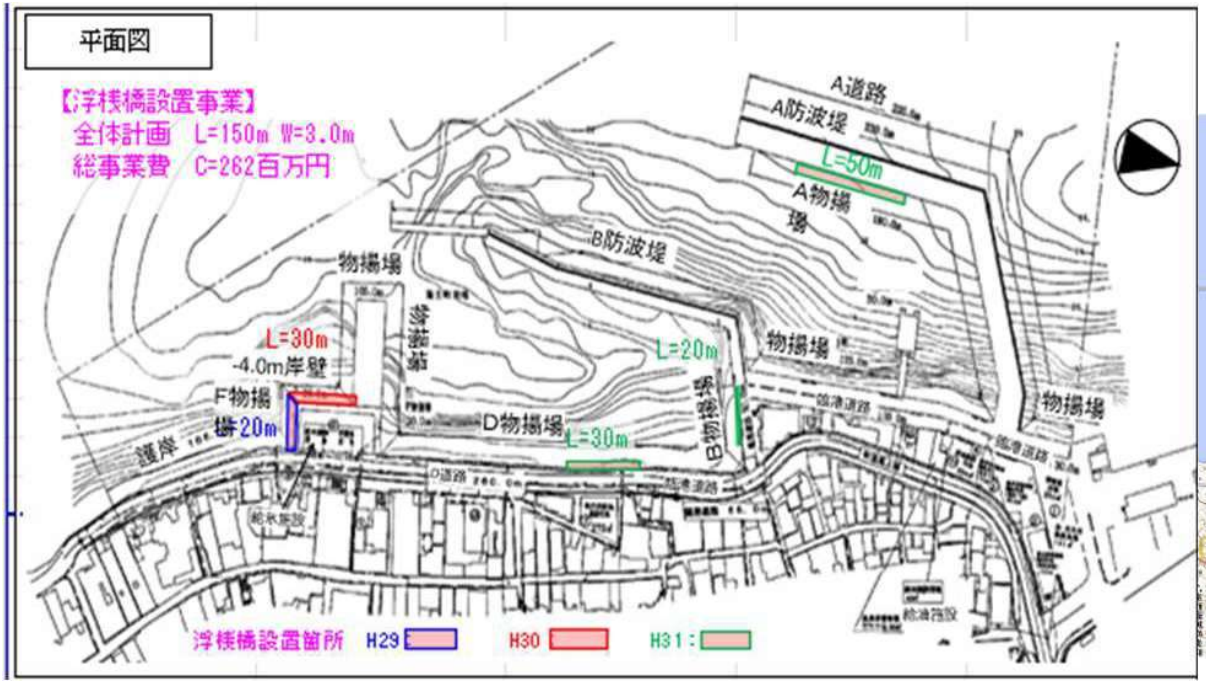
◇地区名：呼子漁港

◇所在地：唐津市呼子町呼子

◇工　期：平成29年度～令和元年度

◇事業費：2.62億円（国：50%、県：35%、市：15%）

◇事業内容：浮桟橋 ΣL=150m(N=5ヵ所)、W=3.0m







2.事業の背景と目的

当漁港は、潮の干満差により、干潮時には物揚場と船先に高低差が生じ、漁獲物の荷揚げ時に漁業者が海へ転落する事故が発生するなど、作業時に大変危険な状況となっており、作業の安全性を考慮して、満潮時まで船上で漁獲物の荷揚げを待つ漁業者も多かった。

このため、物揚場前面に浮桟橋を整備することにより、漁業者の作業の安全性向上による労働環境の改善を図るとともに、作業の効率化による荷揚げ時間の短縮や潮待ち時間の解消による漁獲機会の増大と漁獲物の鮮度保持・品質向上が図られる。



干潮時の危険な作業



干満差の状況

3.整備状況

事業実施前



事業実施後





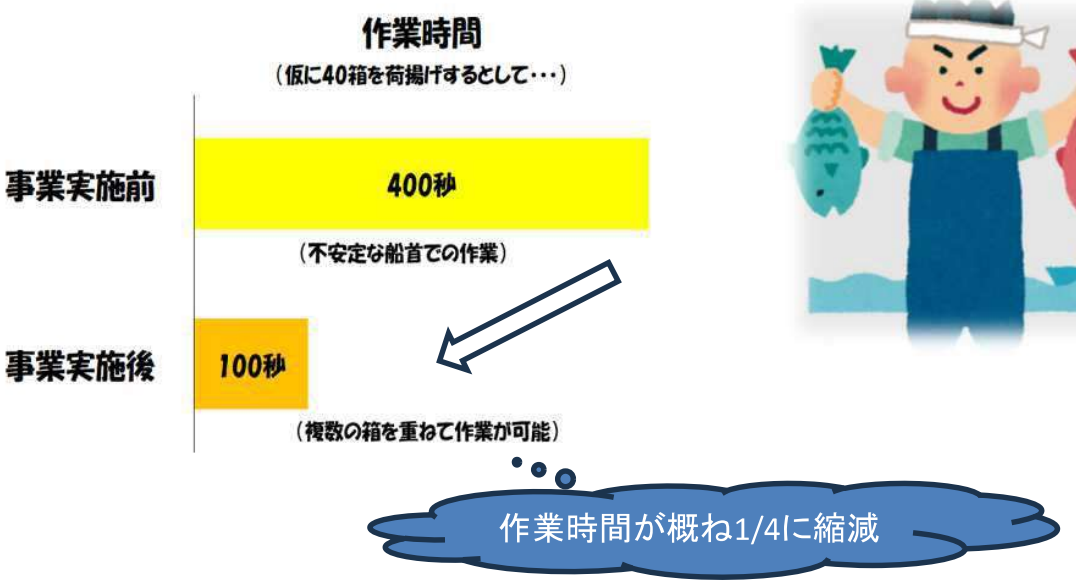


4.事業効果

〇浮桟橋の設置により作業時の転落等の危険性が軽減され、高齢者や女性の家族従事者でもスムーズな荷渡し・荷揚げ作業を行えるなど、安全な作業環境が創出された。

〇干潮時においても満潮時と同等の作業が可能となり、潮待ち時間が解消されたことから、作業時間短縮などの効率化が図られた。





5.漁業者の声

・漁獲物の荷揚げ、漁具の積込み等の作業が楽になった。　【作業の軽労化】

・製氷機からの積込み作業の効率が良くなった。　【作業効率UP】

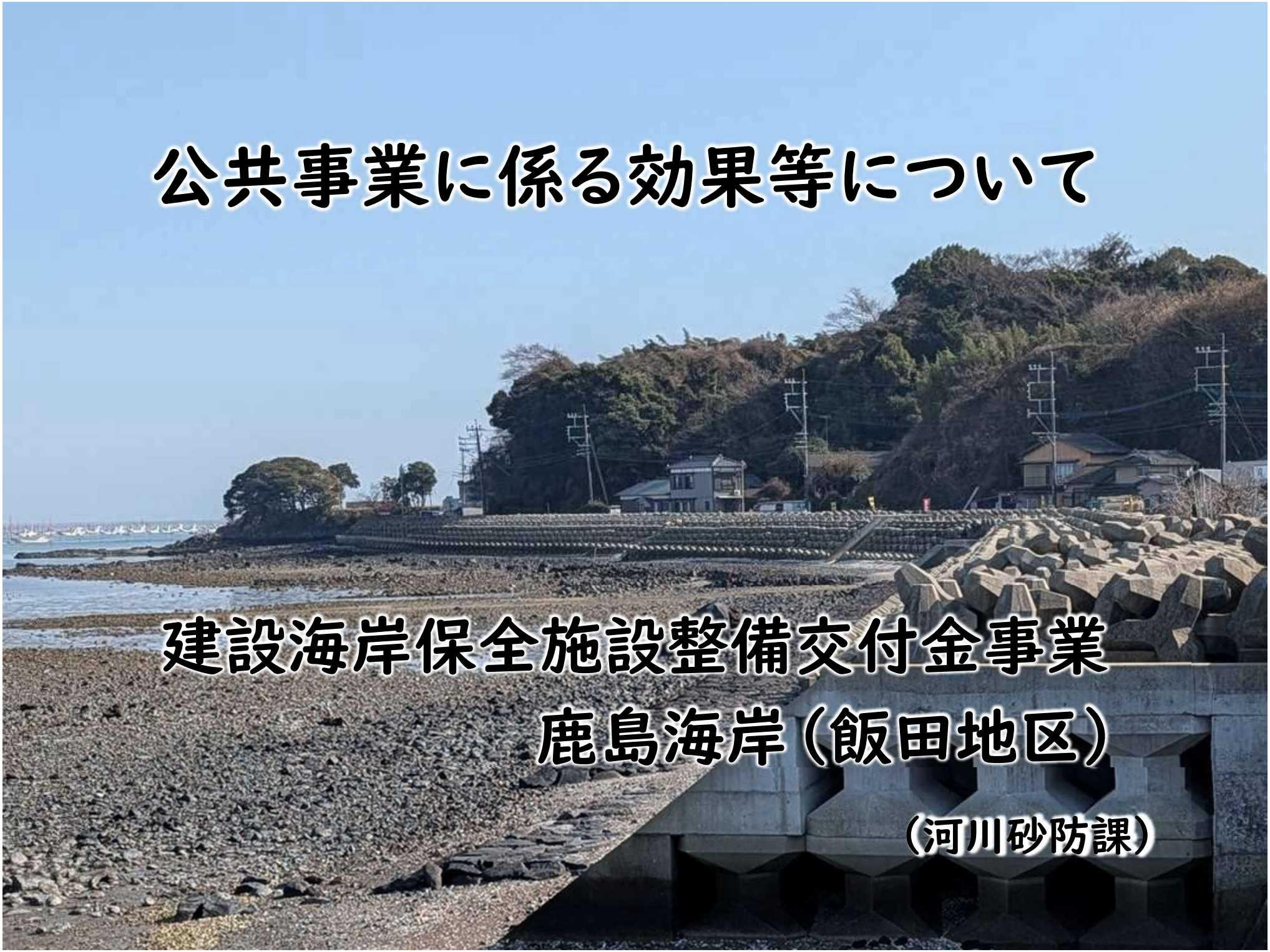
・潮待ちをせず荷揚げ等ができるようになり、作業を終える時間が早くなった。（家族と過ごす時間が増えた）　【作業時間の短縮】

・作業スペースができ、安全に作業できるようになった。　【安全度UP】

など 漁業者、漁協の方から喜びの声を頂いている。



公共事業に係る効果等について



建設海岸保全施設整備交付金事業

鹿島海岸（飯田地区）

（河川砂防課）

事業概要

◆事　業　名：建設海岸保全施設整備交付金事業

◆箇　所　名：鹿島海岸（飯田地区）

◆所　在　地：鹿島市飯田

◆工　　期：平成26年～平成30年(完了：令和元年)

◆事　業　費：約2.3億円

◆事業内容：高潮対策事業（護岸・消波工整備）
延長　L=約350m





凡	例
――	国　道

事業の背景と目的

【背景】

○本地区は、有明海沿岸部に位置し、一般国道207号、宅地、農地を防護している

○高潮及び波浪による越波浸水が発生し、道路交通へ支障を来たしている



平成17年　台風14号接近時



平成24年　台風16号接近時

堤防から越波

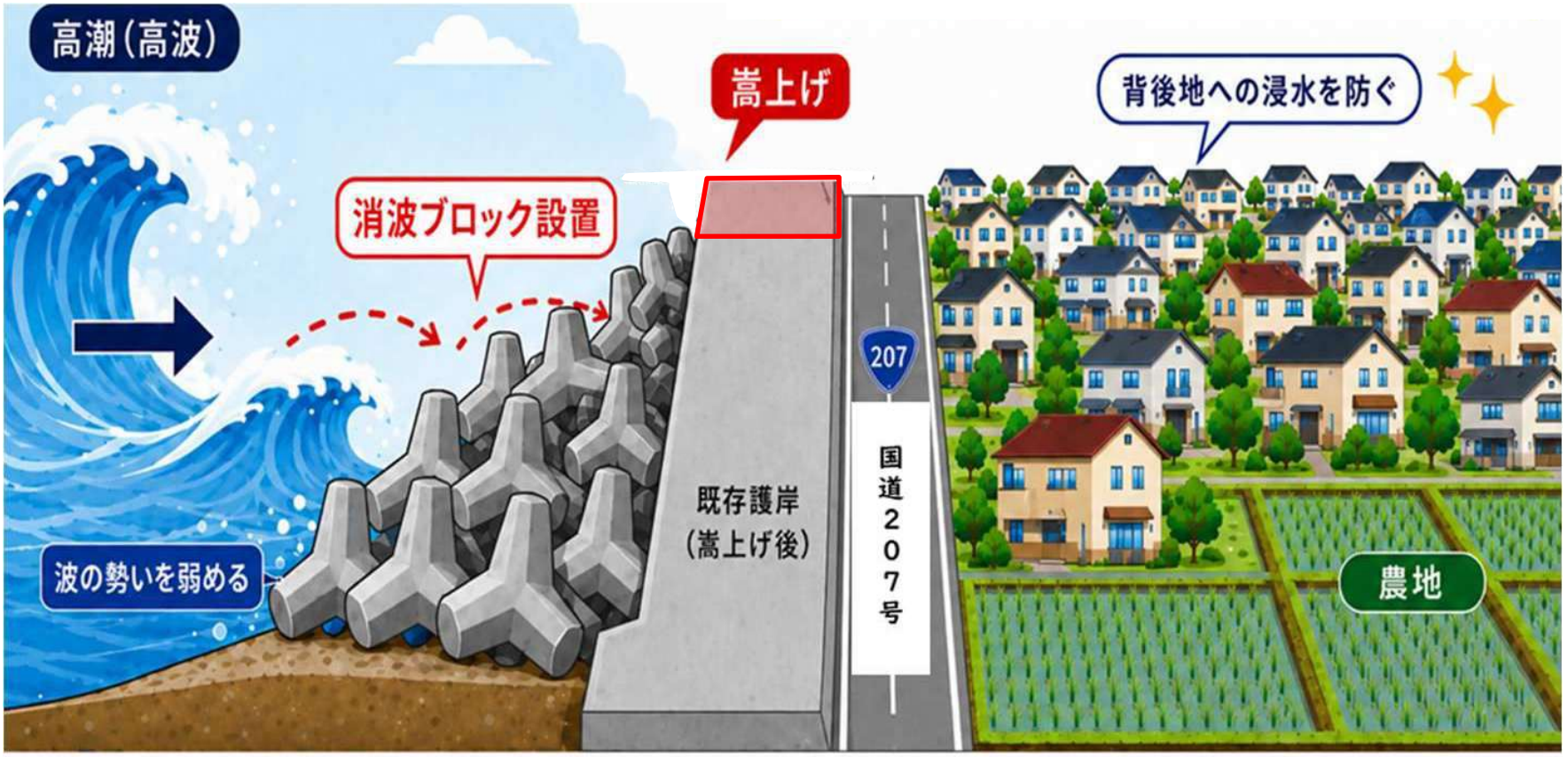
解決のため

【目的】

高潮対策を行うことにより、浸水被害を防止し、沿岸地域の生命・財産を保全するとともに、背後施設の保護と緊急輸送道路としての機能確保を図る。

事業内容

・海岸の護岸を高くする護岸の嵩上げ
・波の力を分散させ、高波の勢いを弱めるため、消波ブロックの設置



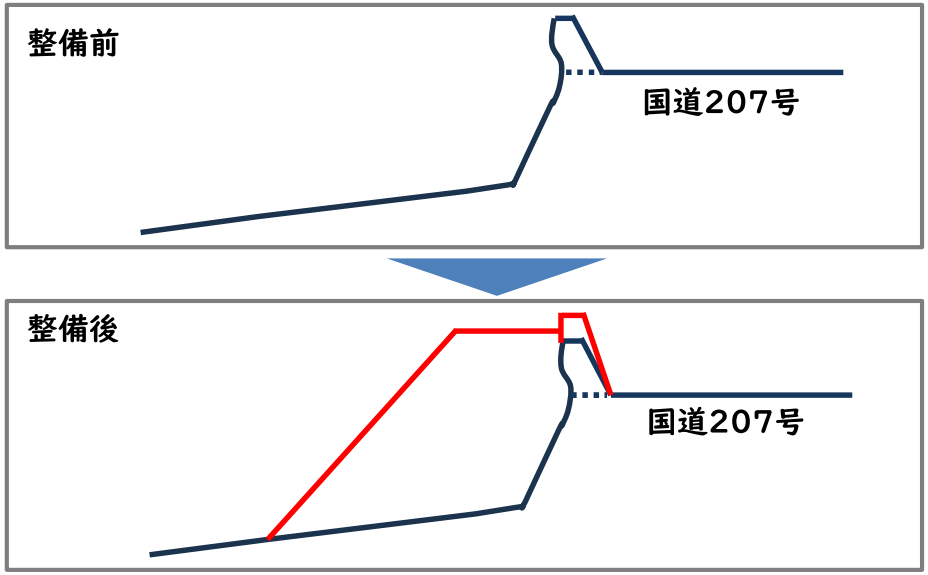
事業効果①

《高潮・波浪被害の防止》

高潮対策実施後、海岸背後を通る一般国道207号（第一次緊急輸送道路）の通行規制（全面通行止め）は発生していない。







竜王観測所（白石町）

年度	平成16年度	令和2年
台風	台風16号	台風9号
最大風速	18.2m/s	19.4m/s
潮位	2.70m	3.53m
通行規制	全面通行止	規制なし
規制時間	3時間	―

県民の声

《県民の声・波及効果等》

・台風時には越波により道路冠水や通行止めが発生し、生活や移動に大きな支障が生じていたが、整備後は浸水被害が解消され、日常生活における不安が大きく軽減された。

・高潮や波浪時においても国道207号の通行が確保されるようになり、通勤・通学や物流が安定し、地域交通の信頼性が向上した。あわせて、緊急時における人命救助や物資輸送が円滑に行えるようになり、緊急輸送道路としての機能が確保されている。

・高潮・波浪被害の解消により住宅や農地が保全され、安心して暮らし続けられる環境が確保されるとともに、住み続けられる地域づくりに寄与している。

